



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月30日

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス
 コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 内山 宏
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 053-444-0054

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	69,372	2.0	4,720	△7.7	4,878	△6.3	2,425	△9.0
25年3月期第3四半期	67,999	△0.7	5,113	△2.1	5,204	△0.7	2,665	△1.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,851百万円 (△6.5%) 25年3月期第3四半期 3,049百万円 (△0.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	290.34	—
25年3月期第3四半期	319.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	88,535	33,624	32.8
25年3月期	86,920	31,215	31.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 29,051百万円 25年3月期 26,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	21.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	2.3	6,900	18.2	6,900	15.8	3,500	12.9	419.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	8,356,000 株	25年3月期	8,356,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,871 株	25年3月期	2,812 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	8,353,163 株	25年3月期3Q	8,353,188 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和政策への期待感から円安・株高を背景に、企業収益の改善とともに景気の足取りが堅調に推移いたしました。

当業界につきましては、円安や株価の上昇を背景として個人消費が回復基調にあるものの、原油等の価格上昇など、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第3四半期連結累計期間は、営業収益693億72百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益47億20百万円（同7.7%減）、経常利益48億78百万円（同6.3%減）、四半期純利益24億25百万円（同9.0%減）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

（物流センター事業）

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、333億20百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は、32億90百万円（同11.7%減）となりました。

増収減益の主な要因は、前連結会計年度までに受託したセンターが順次業績に寄与したものの、既存物流センターの物量減少等により前年に比べ減少しております。

新規受託の概況につきましては、年間15社の受託目標に対し、13社の物流を受託しており順調に推移しております。

また、稼働状況につきましては、前期受託した5社を含めた18社のうち13社稼働しております。残りの5社におきましては、平成26年2月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加と既存荷主の減少により76センターとなりました。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

（貨物自動車運送事業）

当第3四半期連結累計期間の営業収益は360億51百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益14億27百万円（同3.4%増）となりました。

営業収益増加の主な要因は、景況感の回復と新規顧客の獲得が進んだことから、近物レックス(株)の物量が増加したことによるものであります。

営業利益につきましては、営業収益が増加したことに加え、原油価格の上昇、人員不足による外注費の増加等によるコストアップ要因を、日々管理の継続により無駄なコストの抑制を図ったことで、営業利益は増加しております。

第4四半期につきましては、増税前の物量増加が見込まれますが、人員不足や原油価格の上昇なども継続すると思われまます。こうした中、近物レックス(株)において、運賃の値上げ交渉を実施し、更なる経営基盤の強化を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

（当第3四半期の状況）

当企業グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比16億14百万円増加し885億35百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金等の増加により、流動資産が6億23百万円、有形固定資産等の増加により、固定資産が9億91百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比7億93百万円減少し、549億11百万円となりました。これ

は主に、支払手形及び買掛金が5億50百万円増加したことと、短期借入金が5億52百万円、未払法人税等が8億36百万円それぞれ減少し、流動負債が8億7百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比24億8百万円増加し、336億24百万円となりました。これは主に、四半期純利益24億25百万円の計上と剰余金の配当による減少3億42百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の31.0%から32.8%へ増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、政府の経済政策等により景気は緩やかに回復しており、個人消費をはじめ国内需要は堅調に推移している一方、消費税増税後の景気減速懸念、原油等の価格上昇など、不透明な経営環境が続くと思われまます。

このような環境の中、当社の主力である物流センター(3PL)事業を中心にコスト削減の提案を継続し、新規受託に向け積極的な営業を進めてまいります。また、既存の物流センターにおきましても、更なる業務効率化を推進してまいります。

当社において重要なキーワードであります、「日々収支」「全員参加」「コミュニケーション」の既存路線を踏襲した上で、更なる高みを目指し、挑戦を続けてまいります。

平成26年3月期の業績見通しといたしましては、連結営業収益910億円(前年同期比2.3%増)、連結営業利益69億円(同18.2%増)、連結経常利益は69億円(同15.8%増)、連結当期純利益は35億円(同12.9%増)を見込んでおります。

通期見通しにおける軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間32百万円の影響となります。また借入金の変動による影響につきましては、金利0.1%の変動により年間21百万円の影響となります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,080	4,795
受取手形及び売掛金	11,752	12,681
商品	2	2
貯蔵品	123	120
その他	1,795	1,780
貸倒引当金	△29	△31
流動資産合計	18,724	19,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,094	22,258
土地	34,416	34,931
その他(純額)	4,495	5,443
有形固定資産合計	62,005	62,633
無形固定資産	2,028	2,096
投資その他の資産	4,161	4,457
固定資産合計	68,195	69,187
資産合計	86,920	88,535
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,888	6,438
短期借入金	21,740	21,187
未払法人税等	1,279	442
賞与引当金	592	368
役員賞与引当金	46	40
その他	4,695	4,957
流動負債合計	34,242	33,434
固定負債		
長期借入金	11,449	10,790
退職給付引当金	4,939	4,921
役員退職慰労引当金	423	444
その他	4,649	5,319
固定負債合計	21,462	21,476
負債合計	55,704	54,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045	4,045
資本剰余金	3,951	3,951
利益剰余金	18,853	20,936
自己株式	△8	△8
株主資本合計	26,841	28,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	127
その他の包括利益累計額合計	69	127
少数株主持分	4,305	4,572
純資産合計	31,215	33,624
負債純資産合計	86,920	88,535

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	67,999	69,372
営業原価	61,230	63,096
営業総利益	6,768	6,276
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	11	3
役員報酬	329	310
給料及び手当	393	373
賞与引当金繰入額	41	31
役員賞与引当金繰入額	39	40
退職給付費用	22	21
役員退職慰労引当金繰入額	49	44
その他	769	731
販売費及び一般管理費合計	1,655	1,555
営業利益	5,113	4,720
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	25	23
負ののれん償却額	152	152
助成金収入	70	18
雑収入	179	327
営業外収益合計	429	522
営業外費用		
支払利息	282	235
雑損失	56	129
営業外費用合計	338	365
経常利益	5,204	4,878
特別利益		
契約解除補償金	—	50
資産除去債務取崩益	—	11
特別利益合計	—	61
特別損失		
固定資産除却損	—	31
減損損失	—	30
賃貸借契約解約損	—	13
投資有価証券評価損	2	4
損害賠償金	—	51
和解金	—	233
契約解除に伴う損失	—	52
特別損失合計	2	417
税金等調整前四半期純利益	5,201	4,522
法人税、住民税及び事業税	2,019	1,595
法人税等調整額	132	144
法人税等合計	2,152	1,739
少数株主損益調整前四半期純利益	3,049	2,783
少数株主利益	383	357
四半期純利益	2,665	2,425
少数株主利益	383	357

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,049	2,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	68
その他の包括利益合計	△0	68
四半期包括利益	3,049	2,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,666	2,483
少数株主に係る四半期包括利益	383	368

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客への営業収益	32,857	35,141	67,999	—	67,999
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	479	1,097	1,577	△1,577	—
計	33,337	36,239	69,576	△1,577	67,999
セグメント利益	3,727	1,380	5,108	5	5,113

(注)1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客への営業収益	33,320	36,051	69,372	—	69,372
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	367	991	1,358	△1,358	—
計	33,687	37,042	70,730	△1,358	69,372
セグメント利益	3,290	1,427	4,718	1	4,720

(注)1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「貨物自動車運送事業」セグメントにおいて、資産有効活用のため、近物レックス(株)(連結子会社)の松本支店を松本運送(株)(連結子会社)が所有する施設に移転することが決まり、使用が見込まれない固定資産について、当第2四半期連結会計期間において減損損失を認識いたしました。なお、該当減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において30百万円であります。

(4) その他

前連結会計年度及び前第3四半期累計期間の実績につきましては、平成25年8月13日付で公表しました「(訂正・数値データ訂正)「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」」及び「(訂正)「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」」の実績を基に作成しております。